



平成27年度

子供見守り活動事例集



平成27年度 子供見守り活動事例集

平成28年3月発行

編集・発行 東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 安全・安心まちづくり課
〒163-8001
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 第一本庁舎北塔34階
電話 03-5388-2282
ホームページ <http://www.bouhan.metro.tokyo.jp/>





もくじ



始めましょう! 子供見守り活動!	2
いつもの暮らしの中で—プラス防犯—	2

現在の活動をレベルアップしたい方へ

町会・自治会等	「子ども見守り安全マップ」を基にした見守り活動・・・ 3 〈大田区〉六郷地区自治会連合会
PTA	防犯セミナーの開催等による防犯活動
防犯ボランティア団体	地域に大きく貢献した付き添い・見守り活動
コラム	民間事業者 ながら見守り連携事業

活動をこれから開始したい方へ

町会・自治会等	自転車で効率よく地域パトロール
PTA	父親が中心となった子供見守り活動
防犯ボランティア団体	地域の環境美化による防犯活動
大学生	学生が子供たちと結んだ朝の「あいさつ協定」・・・ 17 〈世田谷区〉日本女子体育大学 学友会
民間事業者	物流事業者が取り組む子供へのあいさつと見守り・・・ 19 〈大田区〉リコーロジスティクス子供安全パトロール隊

大東京防犯ネットワーク	21
子供への犯罪傾向	22
東京都地域における見守り活動支援事業	23
子供見守りのヒント（過年度の活動事例紹介）・・・	25



始めましょう! 子供見守り活動!

- 「子供見守り活動」は近年増えつつある子供の犯罪被害から、子供たちを守るボランティア活動です。
- 子供たちが犯罪に遭うことなく、安全安心に日々過ごすためには、多くの目で子供たちを見守り、犯罪を抑止し、起こりにくくすることが必要です。現在、町会・自治会、学校・PTA、警察、または有志の防犯ボランティア団体によって、各地で様々な活動が行われています。
- 本事例集は、実際の活動事例を紹介することで、現在の活動をさらにレベルアップしたい方や、活動を始めようとしている方を応援するものです。



安全安心まちづくりを
推進するマスコットキャラクター
みまもりいぬ

いつもの暮らしの中で—プラス防犯—

- プラス防犯とは、いつもの暮らしの中での行動を防犯の意識を持って行うことです。
- 具体的には、子供の登下校の時間に合わせて、花の水やりや犬の散歩、ジョギングなども効果的な取組といえます。団体でも個人でもすぐに始めることができます。みなさんもぜひ始めてください。



(ジョギングパトロール)

「子ども見守り安全マップ」を 基にした見守り活動



活動のあらまし

地区内15町会が、子供の事故や事件を未然に防ぎ、明るい地域を築くため、地域・学校・家庭が連携して、地域ぐるみの子供見守り活動を始めました。それぞれにアイデアを出し、手づくりの活動をしています。平成18年に発足した、「六郷地区子ども見守り協議会」にも参加しています。

「子ども見守り安全マップ」の作成

地区内の小学校8校で、地域・学校・家庭が一体となって「子ども見守り安全マップ」を作成しました。マップ作成にあたっては、学校付近でフィールドワークを子供たち、先生、保護者の方と一緒にしました。

■ フィールドワークのポイント

- 子供自身に地域をよく見させて、危険・安全と思われる場所を考えさせます。
- 必要に応じて、自治会関係者や保護者からもアドバイスをし、大人と子供が一緒に確認します。



▲ 子供たち、先生、保護者の方と一緒に
なって学校周辺を歩きます

■ 安全マップづくりのポイント

- 班によっては、クイズ形式にして危険・安全な場所の見分け方をおさらいできるように工夫しました。
- 子供たち自ら作成することにより、危険予測能力が高まります。



▲ 安全マップ集

見守り活動

「子ども見守り安全マップ」で判明した危険箇所に注意して活動しています。



■ 青色防犯パトロール (青パト)

警察に申し込んで借りた青パト用の車両で、子供見守りの巡回であることをテープで流しながら、町内を回ります。車体には「警察」の文字。犯罪抑止効果は大きいです。

■ 登下校の見守り

小学校側と連絡を取り合い、下校時間を確かめます。町会で見守りの人員を何班かに分け、子供と一緒に歩いて、きちんと帰路についたことを確認します。



■ 夜間パトロール

夏休み中など学校が長期休みの際に夜9時から10時にパトロールします。

コンビニ、駐車場、公園などにいる子供に「早く帰りなさい」と注意し、促しても帰宅しないときは、「家まで連れて行くからね」と声を掛けます。

活動の成果

- 不審者情報は時々あるが、ほとんど事故、犯罪が起きていないのが活動の成果であると思います。また、地域ぐるみの活動が認められ、警察やNPOから個人・団体表彰を受けました。
- 「子ども見守り安全マップ」づくりをした子供たちからは、地域の危険な場所がよくわかったという声が多く寄せられました。

今後の展望

安全マップづくりを通じてわかった危険箇所に重点を置いて、登下校の見守り、パトロールを始めとした防犯活動を継続的に実施します。
また、落書き、ゴミの放置等の危険箇所の改善に取り組んでいきたいです。

防犯セミナーの開催等による防犯活動



◀ 会長の加藤さん(右)と副会長の和田さん(左)

活動のあらまし

子供たちが危険から身を守るための知識を伝えるため、ただパンフレットを配るだけでなく、楽しみながら学べるスタイルを学校側に提案。クイズやゲームを交えながら防犯知識を身につけるよう取り組みました。

PTA独自の防犯セミナー

平成27年7月6日の全校朝会で、副会長の和田さんが自らステージに上がり、防犯に関するセミナーを行いました。杉並区PTA活動セミナーで紹介された防犯パンフレットを元に、大切な項目はイラストを使ったスライドを作成。

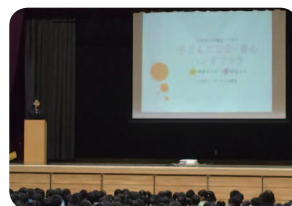
クイズ形式にしたり、いざという時に大声が出せるように学年ごとに大声を競うといったゲーム形式を取り入れるなど、楽しみながら防犯知識を解説。

子供たちに「あなたは何よりも大切な存在」という事を伝えることで、自分の身を守ることの大切さを伝えました。子供たちは真剣に話を聞いてくれて、その日配布された防犯パンフレットに興味津々の様子でした。

学校との連携

セミナー開催の提案をした際、学校側からはすぐに快諾いただきました。スライド作成についても、校長先生から色々とおアドバイスをいただきました。

セミナー終了後は、学校から全家庭に配信される「すぐメール」を利用し、「子供が持ち帰った防犯パンフレットに必ず目を通してください。自分のお子さんに『あなたは大切な存在』とお伝えください。」とお知らせしました。



見守り活動

登校時の旗振り

各学期初めの3日間の登校時（午前7時50分～8時25分）に、各地域班の保護者が通学路で交通安全の旗振りなどを行います。

集団下校日の付き添い

年数回実施される集団下校の日には、各地域班の世話人・副世話人が付き添います。

防犯腕章の着用

外出する際には防犯腕章を着用するように、各家庭に呼びかけています。学校行事や地域のお祭りなど、特別な時はその都度腕章着用をお願いするメール連絡をしています。太いタイプの防犯腕章は「大き過ぎて付けづらい」という声があるので、カバンに付けられるほどに細い防犯腕章を配布できるように準備中です。



▲ 新しい防犯腕章

親児の会（おやじのかい）

子供と一緒に楽しみながら父親同士の親睦を深めることを目的に、10年前に発足した「親児の会」は、夏休みの「泊まろう会」や正月の「もちつき会」のほか、子供たちと一緒に、毎月第2・第4土曜日の夜6時から2班に分かれて学区のパトロールを行い、公園や公衆トイレなども隈なく見回りをしています。毎回、10人以上が参加して地域の安全意識を高める活動を続けています。



▲ 学校の掲示板上に貼り出される壁新聞

活動の成果・今後の展望

- セミナー後は、子供たちの意識が高まり、学校が終わるとまっすぐ帰宅し、放課後も安全に気をつけるようになりました。
- PTA役員はほぼ毎年交代することになります。「今年はこういう防犯活動をしました」で終わることなく、子供を犯罪被害から守るために活動する意識を引き継いでいきたいと考えています。

地域に大きく貢献した 付き添い・見守り活動



活動のあらまし

付き添い隊を立ち上げるきっかけは、小学校の児童が被害に遭う事件が続発した平成17年度。地域住民の間でも治安に対する不安が高まったこともあり、翌18年4月から、約50名のメンバーが一年生の下校時間帯に絞って付き添いや見守りを行う活動を開始しました。

子供の安全と自立を目指す活動

■ 付き添い隊

清瀬市立芝山小と第四小では一学期の間、学童クラブの利用者を除いた新一年生に大人が付き添って下校します。付き添い隊のメンバーは当番制で、通学ルートごとにそれぞれ1～2名が同行。交通事故や犯罪に巻き込まれないよう注意を払いながら、各ルートの出迎え地点まで送り届けます。



■ 見守り隊

二学期以降は付き添うことはせず、付き添い隊に参加したメンバーが通学路に立って子供たちの下校を見守っています。メンバーは担当制ではなく、時間のある人が随時、参加する形をとっています。



■ メンバーの募集方法

地域の広報誌や小学校の入学説明会で付き添い隊のメンバーを募集しています。10年間の活動が実を結び、入学前の子供を持つ保護者にも活動が認知されており、毎年、新一年生の保護者や地域の方々が新しくメンバーに加わっています。子供の進級や卒業後も継続して参加してくれるメンバーも多く、現在も約50名が活動しています。



地域・学校との連携のポイント

①自治会との連携

近隣団地の自治会の有志が、防犯パトロールを実施しています。下校時間をお知らせして、連携しながら見守り活動しています。

②地域住民との連携

下校時の見守りはメンバーだけでなく、地域の人々の協力が重要。そのため、付き添い隊に参加したメンバーはもちろん、各小学校の保護者や地域の人たちにも、一年生の下校時間帯を知らせるプリントを作成し、配布しています。

③学校との連携

下校中の子供が危険な行為をしたり悪ふざけをするなど、付き添い隊が困るような事案があれば、担任の先生に相談し、学校で指導をしてもらうことがあります。最近は、付き添い隊を困らせるようなことがほとんどなくなりました。

活動の成果

付き添い隊の活動を始めて10年。これまで、付き添い下校中の子供が大きな事故や事件に遭ったことはありません。さらに、子供たちが付き添い隊に参加していた大人の顔を覚えていて、卒業後もお互い声を掛け合う関係に。親同士も、子供の学年を越えて交流が広がるなど、活動を通して地域のコミュニティがより親密になっています。子供たちの安全を守るという目的以外にも、プラスアルファの大きな収穫となりました。



▲ 子供からの手紙

今後の展望

少子化や働く保護者の増加もあり、次世代への引き継ぎが課題です。苦勞して立ち上げた活動なので、大切に続けていきたいです。子供たちに自分が見守られた記憶が残り、次世代のため何かをやろうというきっかけになればと思います。

隊長から一言

以前にもPTAによる新一年生の下校パトロールが新学期に短期間行われていました。その取組を見直し、当番の決め方をそれぞれの都合や条件を考慮するようにして「無理をしない、相手にも無理強いしない」をモットーに活動を始めました。参加回数の多い少ないにかかわらず、それぞれの都合に合わせ、参加してもらうことで長続きしています。

「ながら見守り連携事業」

～地域で子供を見守るネットワークを構築～

事業の趣旨

近年、高齢化等により、地域による見守り活動の低下が懸念されています。そこで地域見守りの目を増やすため、地域に密着した事業者にご協力いただき、日常業務をしながら子供や高齢者を見守っていただこうと、平成27年7月よりスタートした取組です。

事業者の防犯活動促進のため、事業者と東京都で「包括協定※」を締結します。区市は、地域住民の要望に合った効果的な見守りを実施するために、事業者と個別協定を結びます(平成27年度中に9区市が協定を結ぶ予定)。

事業者は、要望のあった箇所を「ながら見守り」によるパトロールを行い、区市町村と地域情報を共有します。

※包括協定の内容

- 1 東京都は、事業の実施に当たって事業者に対して必要な支援を実施
- 2 事業者は、各店舗等に対し、本協定の趣旨を周知するとともに、「ながら見守り」に関する取組について区市町村と協議し、各店舗等において実施できるよう支援
- 3 東京都と事業者は、必要に応じて情報交換を行い、相互連携を強化

事業の概要

①見守り要望箇所の選定

区市町村が住民の要望を踏まえた「見守り要望箇所」を選定
事業者へ要望箇所の走行を依頼

②見守り要望箇所の走行

スピードを落として走行→周囲に存在を示すことによる防犯効果

③ヒヤリハット情報の共有

事業者・地域の持つヒヤリハット情報の共有

④高齢者への声掛け(あいさつ)

あいさつを交わすことによる犯罪の起きにくい地域づくり
顔見知りなど可能なところから始め、徐々に範囲を拡大

⑤住民の安全安心に係る異常を認知した場合の対応

保護など安全確保と関係機関への通報

⑥特殊詐欺チラシ等の配布・説明

チラシを手渡ししながら被害防止の注意喚起を実施

⑦メールけいしちょう等への対応

事件発生情報受信時の現場付近走行→連続発生の防止効果



「ながら見守り連携事業」用ステッカー

幅広い世代の都民に「ながら見守り連携事業」の趣旨を理解いただき、協力事業者が円滑に活動できる環境を整えるために、象徴となるステッカーを作製しました。

<車両用>



※角度によって2種のデザインが変わります。

<店舗用>



安全安心まちづくりを推進する
マスコットキャラクター
「みまもりいぬ」

参加事業者

一般社団法人東京都信用金庫協会、日本郵便株式会社東京支社、株式会社セブン-イレブン・ジャパンの3社が東京都と本事業に関する協定を締結しています。

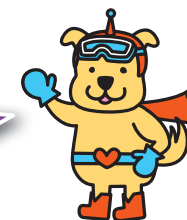


H27.7.21 東京都信用金庫協会・日本郵便株式会社東京支社との締結式



H27.12.18 セブン-イレブン・ジャパンとの締結式

都では、今後も、協力事業者の拡充を図り、都民が安全に安心して暮らせる社会を目指して取り組んでいきます。都内で広域的に活動していただける協力事業者のご参加をお待ちしております!



自転車で効率よく 地域パトロール



活動のあらまし

平成17年12月栃木県今市市で7歳の女児殺害事件が起きました。当自治会では、それまで有志が防災活動を行っていましたが、事件をきっかけに、防犯を最優先した取組に変更しました。

同年同月8日「野口町3丁目自治会防犯パトロール隊」を結成しました。当初メンバーは12名。10年目の現在は33名が活動しています。

活動立ち上げ時の苦勞

活動当初は、発起人に自治会長が含まれていましたので、役員や身近な人に声掛けてスタートしました。活動日を増やしていくためには、相当数の隊員を確保する必要があったので、自治会を通して回覧板で募集し、自治会の委員にも声掛けをして隊員を増やしました。

パトロール隊のベストは、警察に相談したところ、地域会議に出席することにより、その都度提供していただくことができました。

活動のようす

地域に不審者が入り込むのを防ぐために、自転車を活用して広域的に見守り活動をするとともに、交差点などで子供たちにあいさつや声掛けをしています。

●時間帯

小学校3年生までの低学年が下校する時間帯

●活動範囲

通学路を中心とした地域全般

●活動人員

1日あたり5～6人



▲日頃の活動の御礼として、毎年、小学校のお祭りに招待されています

取組方法

1 メンバー募集

自治会の会合や老人会の集まりなどの場で、協力してくれそうな人がいたら、積極的に声を掛けています。

2 活動ツール

ユニフォーム：パトロール隊のベスト
帽子、腕章、名札
自転車：地域内を有効に回れます。



3 メンバーへの連絡

活動に出る人を割り当てた配置表をメンバー宅のポストへ投函。
1人週1回程度の出勤としています。



4 活動継続のコツ

あくまでもボランティアなので強制はしない。
月1回の参加でもOK。
隊員同士の親睦を深める、年2回の慰労会。
(親睦がないと長く続かないと思います。)

5 パトロール実績表の作成

結成時から現在まで、出勤日数、1日あたりの参加人数などの記録をとって集計しています。

防犯パトロール実績表 ▲

周囲の反応

当初は子供たちに変なおじさんたちと見られていたようですが、最近では子供たちの方から声を掛けてきたり、相談話を話してくれるようになりました。

町で保護者に会うと、「ありがとう」「ごくろうさま」と声を掛けられることも多くあり、地域のつながりに一役買っていることを実感しています。

活動の成果・今後の展望

- ほとんど事故、犯罪が起きていないのが活動の成果だと思います。また、警察やNPOから感謝状を贈呈されました。
- メンバーが高齢となり、この活動をどう続けていくかが課題です。メンバーを増やすために、小学校の保護者会と協力体制を築いていきたいと思っています。



父親が中心となった 子供見守り活動



活動のあらまし

平成25年6月、大泉第一小学校に通う子供たちが、校門前で刃物を持った男に切りつけられるという痛ましい事件が発生しました。子供たちの安全を脅かす犯罪を保護者として見過ごす事はできないという思いから、大一男組は同年9月に結成されました。

大一男組という団体名は、大泉第一小学校の児童の父親が中心となって結成されたために付けられたものです。現在の登録メンバーは50名程。活動一回あたりの参加人数は10~20名程です。

活動立ち上げ時の苦労

規約づくり、活動計画策定、学校との連携、活動資金確保などの経験がなく、ゼロからのスタートだったので、環境整備に苦労しました。メンバーは、「無理をせず、やれる範囲で、まずやってみる」の考え方で、力を合わせて対応しました。また、校長先生のサポートもあり、活動を軌道に乗せることができ、おそろいのベストを学校等の協力でそろえることができました。



▲ 代表の平井さん

活動のようす

登下校の見守り：

登下校の見守りは、日程はとくに決めずに、メンバーが各自出られる日に行っています。見守り活動で意識しているのは、朝の声掛け（おはようございます）と交通安全です。新入生が仲間入りする4月はいつもより念入りに行います。学校側から「一斉下校をやります」という連絡があった際には、メンバーに「この日は一斉下校があるので出られる人は活動しましょう」と連絡します。



防犯パトロール：

パトロールは四半期に一度、夕方から30分~1時間程度行っています。学校周辺の公園、通学路、駐車場、空き地などを重点的に巡回しています。

あんしん大一の日：

大泉第一小学校で毎年行われている「あんしん大一の日（防犯・防災に関する体験学習）」に参加しています。この日は下校のコースによって各班に分かれ、一緒に集団下校し、「ひまわり110番」のマークの確認と、ご協力いただいている民家や商店の方へ、子供たちからのお礼のごあいさつとその気持ちを書いたお手紙をお渡ししています。



▲ 商店の方へお手紙をお渡し

取組方法

1 メンバー募集

入学式の日に学校から少し時間を割り当ててもらい、入学した子供たちの保護者に活動を説明しています。「大一男組」という名前ですが、女性の参加ももちろんOKです！



◀ おそろいのベスト

2 活動ツール

おそろいのベスト

3 メンバーへの連絡

主にメールやグループウェアで連絡しています。朝市や親子スポーツ大会など大きなイベントごとに学校を通じて各家庭に案内チラシを配布しています。



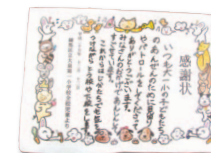
▲ 活動内容案内チラシ

4 活動の考え方

子供のためになると思うことを「無理をせず、やれる範囲で、まずやってみる」

周囲の反応

子供たちから手づくりの感謝状をもらいました。こういった子供たちからの反応は嬉しいですし、活動の励みになります。



◀ 手づくりの感謝状

活動の成果・今後の展望

- 大人に見守られているという安心感と、自らも気をつけなければならないという防犯意識が子供たちに芽生えました。
- さらにメンバーが増えれば、活動の範囲が広がると考えています。

地域の環境美化による 防犯活動



活動のあらまし

代表の星野さんが活動を始めたのは、毎朝近所を清掃していた父親からバトンタッチされたことがきっかけです。元々防犯に関心があり、地域環境を整えて、子供やお年寄りが安全に暮らせるようにしたいので、2名のメンバーで町会と連携しながら活動しています。

活動立ち上げ時の苦労

近所に設置してあった三角コーンとそれをつなげるポールが、いたずらで数回壊されるということがありましたが、最近は落ち着いてきています。清掃などの環境美化活動が抑止につながっていると思います。

区役所が主催する防犯関係の会議や講習会に参加することで、「路上喫煙 ポイ捨て禁止」のステッカーや防犯パトロール用ベストをいただくことができました。

さらに、都が主催する防犯ボランティア向けの講座を活用することで、防犯知識を習得するように努めました。



▲ 代表の星野さん

活動のようす

西新宿3丁目は表通りに会社や雑居ビルが立ち並び、裏通りは住宅街です。大型駐車場が数箇所あり、夜間に犯罪が起こりやすい地域で、盗難を目撃したこともあります。ゴミ、タバコの吸い殻の投げ捨てに加えて、放置自転車も少なくありません。こうした場所は、犯罪が起こりやすい地域となるため、地域を点検し、環境美化に努めています。

●清掃活動

毎日早朝から実施。普段の買い物の行き帰りの際なども、目につくゴミなどを片付けています。

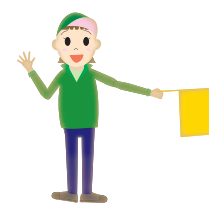
●タバコの吸い殻のポイ捨て防止

区から「路上喫煙 ポイ捨て禁止」のステッカーを支給してもらい、地域内に貼る。



●犯罪が起きやすい場所の改善

放置されている自転車や道路工事看板などを区に連絡します。



取組方法

1 メンバー募集

町会行事に参加した際に、自分たちの活動について紹介しています。



2 活動ツール

清掃道具

「路上喫煙 ポイ捨て禁止」のステッカー
防犯パトロール用ベスト



3 活動継続のコツ

近隣の治安情勢を把握し、「街を良くしたい」という気持ちを持ちながら、毎日地道に取り組むことが大切だと思います。

●周囲の反応

朝の掃除をしていると、通勤の方が「ご苦労様です」と声を掛けてくれるようになりました。

●活動の成果・今後の展望

- 最近は近所がきれいになり、ゴミがほとんど落ちていない状態になりました。目立った犯罪も起こっていません。
- これからも、地域、お年寄りや子供のために続けていきたいと思っています。

学生が子供たちと結んだ 朝の「あいさつ協定」



活動のあらまし

学友会の自転車マナー向上運動に参加したとき、大学の先生から「近くの給田小学校で朝のあいさつをしてみてもどうか」と、勧められたのが発端です。早速、小学校の校長先生に連絡したところ、了解を得られました。平成26年11月から小学校の校門に立ち、駐在所の警察官や地域の方、小学校の先生に混じって、小学生に「おはよう」とあいさつしています。

「あいさつ協定」とは

日本女子体育大学 学友会と給田小学校代表委員会との間で平成26年9月に結ばれました。相互にあいさつを交わすことで、明るい地域づくりを目指し、また地域全体の繋がりを深めることにより犯罪が起こりにくい環境を作ることなどを目的としています。

活動立ち上げ時の苦勞

当初は、保護者や先生方と少し距離感がありました。そこで、学生は名札をつけていたり、「元気にあいさつしよう」と紙に書いた横断幕を作りました。登校時のあいさつをした後は、朝に全校生が校庭で遊ぶ時間で子供たちと一緒に遊び、学校とのつながりを深めようと心掛けました。この頃は一緒に校門に立つメンバーとして認めてくださっています。

活動のようす

週2回火曜日と金曜日が活動日。朝8時から3～4人の学生が給田小学校の校門に立ち、「おはようございます」とあいさつをして迎えます。早めに来た子供たちが学生達の横に並んで、一緒にあいさつします。大学の夏休みなど長期休暇のときには活動はお休みです。給田小学校には「給田タイム」という、毎週火曜日と金曜日の朝、全校生が校庭で遊ぶ時間があります。縄跳びをしたり、運動会が近ければその練習に当てられる時間です。

火曜日には登校時のあいさつをしたあと、子供たちと一緒に遊んだり、運動をします。



▲ 給田タイム

取組方法

1 メンバー募集

大学の「ボランティア活動論」という授業では、学生が行っているボランティア活動のアピールができます。そこで給田小学校での朝のあいさつ運動を発表しメンバー募集をしました。学生の関心は高かったものの、朝が早くて来られないという人も少なくありませんでした。

教職課程をとっている人は実際の小学校の様子もわかることなどから、関心が高いことがわかりました。

2 活動ツール

活動時はニックネームを書いたネームホルダーを首にかけています。本名より覚えやすく、親しみやすいと思います。



▲ ネームホルダー

3 メンバーへの連絡

いつ誰が出るか、ローテーションを組みあらかじめ連絡しますが、確認のために前日にも「明日は活動日」とラインで知らせます。家が遠く始発電車であるメンバーもいるので、雨風が激しいなどやむなく活動中止になるような緊急時は、そのメンバーが家を出る前に連絡をするようにして対応しています。



周囲の反応

回を重ねるごとに子供たちがこちらの名前を覚えてくれて、自分からあいさつしてくれるようになりました。そんなとき、子供たちから元気をもらえます。保護者でつくる「やまとの会」のみなさんにはソフトボール大会や餅つきにも誘っていただき、地域とのつながりができてきました。



▲ 代表の竹田さん(右) 才野さん(中央) 斎藤さん(左)

活動の成果・今後の展望

- 学校や地域の方とともに継続的に活動し続けることで、関係者が一体となり地域の防犯力を向上することができました。
- メンバーが増えると、一人一人のシフトが楽になるだけでなく、大学と地域の交流が深まるため、この運動を大学全体に広めていきたいです。この運動に関心を寄せている学生や教職課程をとっている人などを対象に働きかけていきたいと思っています。

物流事業者が取り組む 子供へのあいさつと見守り



活動のあらまし

「安心・安全・確実な物流事業者として、地域に積極的に貢献する」のがリコーロジスティクスの方針です。首都圏事業本部ではその一環として、平成18年6月、登校する子供たちにあいさつをするのにも見守る活動を始めました。活動を開始して10年になろうとしています。途中職場移転があり、1回の活動人数は減りましたが、毎週欠かさず、出勤しています。

活動立ち上げ時の苦労

開始当初は、この活動が子供たちに受け入れられるにはどうしたら良いかを悩みました。そこで、積極的に子供たちに「おはよう」とさわやかな顔であいさつするように努めました。また、全校朝礼でベスト、帽子を被って壇上に上がり、校長先生から紹介していただきました。その結果次第に子供たちからも「おはようございます」という声を聞けるようになりました。

活動のようす

小学校付近の3カ所に立って「おはようございます」のあいさつと見守り

●活動日

毎週月曜日 ※月曜日が祭日の場合は火曜日
(学校休み期間は除く)

●時間帯

小学校登校時の午前8時～8時半(7時50分集合)

●活動場所

大田区立大森第五小学校周辺

●活動人員

1日あたり3～4人

●警察との連携

警察署主催の「ひったくり被害防止キャンペーン」・「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」等にも参加し、安全なまちづくりに貢献しています。



取組方法

1 メンバーの構成

首都圏事業本部のほぼ全員、100名以上が交代で参加



2 活動ツール

そろいの目立つ帽子とベスト。帽子の「大五小」については、学校の下承を得て入れたものです。



▲ そろいの帽子とベスト

3 メンバーへの連絡

毎年2月に次年度の年間予定を各職場にメール配信。職場では個人の都合、仕事の具合により誰がどの日に出るかを割り当てる。

4 活動継続のコツ

当番は一人当たり年に数回なので、個々の人に大きな負担がかからず、気楽に参加できます。体調の悪いとき、業務が忙しいときには無理をせず、職場内で出る人をやりくりします。



周囲の反応

保護者の方から大変感謝されています。また、朝、公園を散歩されている地域の方も笑顔で迎えてくれます。



活動の成果・今後の展望

- 社員の社会貢献への意識が高まりました。また、地域の防犯意識の高揚に寄与したということで、警察署から感謝状を贈呈されました。
- 今後も引き続き活動を継続していきたいと思っています。



大東京防犯ネットワーク

東京都では、防犯ボランティアを応援するポータルサイト「大東京防犯ネットワーク」により、さまざまな防犯情報を提供しています。ぜひご覧ください！



都や区市町村の情報、防犯ボランティアの活動を紹介！



以下のようにクリックすると、過去の子供見守り事例集をご覧いただけます。

- ▼ 子供の安全対策
 - ▼ ボランティアリーダーの育成
 - ▶ 子供見守り活動事例集

防犯情報等をツイートしています♪ (@tokyo_bouhan)



<http://www.bouhan.metro.tokyo.jp/>

大東京防犯ネットワーク

検索

※このホームページは平成28年度内にリニューアル予定です。

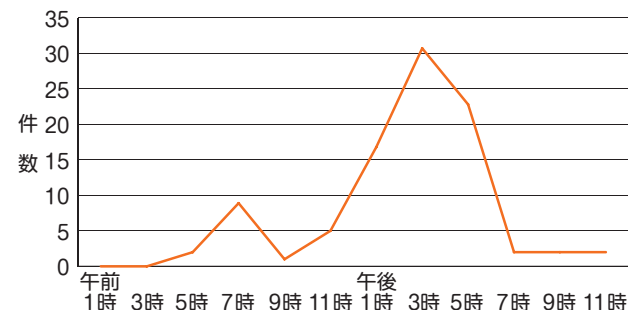
子供への犯罪傾向

都内では13歳未満の子供に対する性犯罪（強姦、強制わいせつ）も発生しています。時間別、場所別の発生状況等（平成27年中）を以下に示しますので、日々の活動の参考としてください。

（※ グラフ構成比の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。）

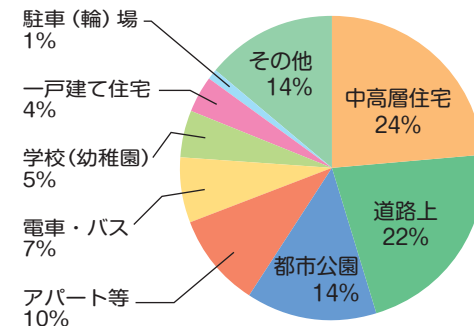
○ 時間別発生状況

13歳未満の子供に対する性犯罪の約8割は、登下校の時間帯（午前7時から午前9時、午後2時から午後7時）に発生しています。



○ 場所別発生状況

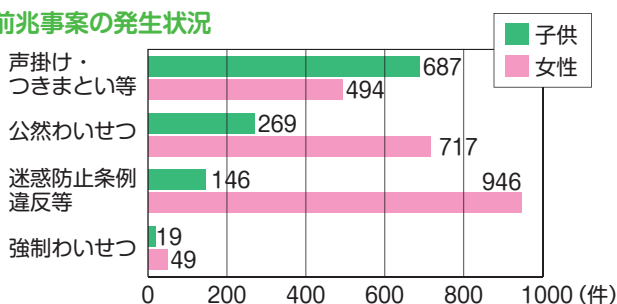
中高層住宅、道路上、都市公園で発生した事件が全体の約6割を占めます。



○ 子供や女性に対する

声掛け・つきまとい等の前兆事案の発生状況

平成27年中の子供や女性に対する声掛け・つきまとい等の前兆事案に関する報告件数は3,327件で、平成26年と比べると672件増加しました。



〈本ページの統計は、警視庁生活安全総務課 集計〉

東京都地域における見守り活動支援事業 (防犯カメラや見守り活動に必要な装備品等への補助)

東京都は、町会・自治会・商店会などの地域団体が連携して、ソフト面、ハード面を併せた総合的な地域安全対策を実施する場合に、防犯カメラなど防犯設備の設置費や、防犯パトロールに使用するベストなど装備品の購入等に係る経費について、地元自治体（区市町村）と共に補助しています。

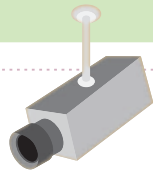
※本補助制度は、お住まいの区市町村が都と同様の補助制度を設けていることが前提となっておりますので、申請方法を含め、補助制度の詳細については、お住まいの区市町村安全安心まちづくり担当部署までお問い合わせください。

① 防犯設備整備補助事業

〔対象〕 防犯カメラ、防犯灯、ボラード等の防犯設備

〔負担割合〕 都 1 / 2、区市町村 1 / 3、地域団体 1 / 6（都補助限度額 団体単独300万円、団体連携450万円、防犯カメラ1台あたり60万円）

※平成27年度の事業内容となりますので、平成28年度については、区市町村の担当部署までお問い合わせください。

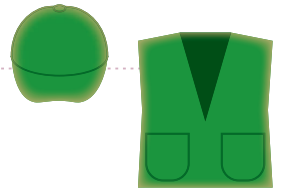


② 地域防犯環境改善補助事業

〔対象〕 青色回転灯・ベスト・キャップ等見守り活動に必要な装備品、落書き消去用具・清掃用具等防犯環境改善に必要な資器材等

〔負担割合〕 都 1 / 2、区市町村 1 / 3、地域団体 1 / 6（都補助限度額20万円）

※平成27年度の事業内容となりますので、平成28年度については、区市町村の担当部署までお問い合わせください。



③ 区市町村青色防犯パトロール支援事業

〔対象〕 青色回転灯等

〔負担割合〕 都 1 / 2、区市町村 1 / 2（都補助限度額5万円）

※平成27年度の事業内容となりますので、平成28年度については、区市町村の担当部署までお問い合わせください。

● 補助の条件（申請受付時期 ①は年1回、②・③は随時）

- ・「安全・安心まちづくり推進地区」内で実施する事業であること（「安全・安心まちづくり推進地区」については、区市町村の担当部署までお問い合わせください。）
- ・地域での活動回数が、月1回以上の団体であること
- ・5年間継続して、防犯に関する地域活動を行うこと

※平成27年度の事業内容となりますので、平成28年度については、区市町村の担当部署までお問い合わせください。

こうした補助制度も活用して、見守り活動をより充実したものにいきましょう！



子供見守り活動のヒント<索引>

活動の活性化

活動継続や仲間づくりの工夫



- 還暦野球倶楽部オールドスターズ
(23年度・p16-17)
- 馬橋ご近所付き合い広目隊
(23年度・p22-23)
- 高井戸東地区防犯パトロール隊
(24年度・p8-9)
- 和泉ピースプラスワン
(24年度・p22-23)
- 明大前ピースメーカーズ
(25年度・p22-23)

ワンワンパトロール

犬の散歩をしながら
子供の見守り



- 新高円寺わんわんパトロール隊
(23年度・p10-11)
- 牛込ワンワンパトロール隊
(24年度・p10-11)

環境美化

落書き消しによる
防犯力アップ



- 柏木地区協議会
(25年度・p10-11)

花植え活動

植栽を通じた
子供の見守り



- NPO 法人ささえ手
〈グリーンバレープロジェクト〉
(23年度・p6-7)
- 花畑地区前通り町会
(25年度・p6-7)

子供110番の家等への 駆込み体験

子供の危機回避能力を
高める取組



- 中野区西町町会子供
と共に進む会
(23年度・p12-13)
- 学園東町・子ども見守り隊
(25年度・p8-9)
- セイフティ・ハロウィン実行委員会
(26年度・p7-8)

危険箇所の点検・改善

子供が安全安心に
暮らせる地域づくり



- NPO 法人ささえ手
〈高松地域会議〉
(25年度・p12-13)
- 南白糸台小学校と
その児童・PTA・自治会
(26年度・p11-12)

これまで事例集に掲載した事例をタイプ別に整理しました。
日頃の活動の参考としてください。



小学校との連携

小学校と円滑に
連携した取組



- 山王町会防犯パトロール隊
(26年度・p13-14)
- 聖ヶ丘子ども・おとしより見守り隊
(26年度・p17-18)

事業者の防犯活動

地域社会の一員
としての防犯活動



- わが街企業パトロール隊
(26年度・p19-20)
- ワタナベジム防犯パトロール隊
(26年度・p23)
- リコーロジスティクス子供安全パトロール隊
(27年度・p19-20)

学生ボランティア

若い力による
子供の見守り



- 練馬ピーポーズ・練馬工業高校
(24年度・p16-17)
- 明治薬科大学マナーアップ委員会
(26年度・p21-22)
- 日本女子体育大学 学友会
(27年度・p17-18)

登校時の見守り

ユニークな
見守り活動



- 和田三丁目西町会
(24年度・p12-13)
- 鈴木孝雄さん ● 橋本豊明さん
(25年度・p17)
- 上ノ原まちづくりの会
(26年度・p15-16)

地域団体との連携

行事を通じて
顔見知りを増やす取組



- 四谷地区青少年育成委員会
(23年度・p8-9)
- 子ども見守りチャレンジ事業実行委員会
(24年度・p6-7)

子供の居場所づくり

世代間交流を活かした
居場所づくりの取組



- “がきんちょ”ファミリー
(24年度・p14-15)
- 下北沢・コーデ騎士団
(25年度・p14-15)

平成23年度から平成26年度までの子供見守り活動事例集は、
「大東京防犯ネットワーク」でご覧いただけます。